


SUP

ストーマ用品メーカーや販売店が ストーマ保有者から受ける 相談内容と対処の実態調査

渡邊光子 安藤嘉子 片岡ひとみ
土田敏恵 三富陽子

ストーマ・イメージアップ・プロジェクトチーム
(S.I.U.P.)

研究協力いただいた方々の匿名性確保のため回答の全部がご覧できませんので、ご了承ください




SUP

はじめに

2011年に実施したストーマ保有者を対象とした全国調査で、相談窓口としてストーマ外来に次いで多かったのは、装具販売業者やストーマメーカー（以下、事業者）であった。しかし、事業所に対する相談内容の報告はない。

目的


事業所が受けている相談内容と対応、提案や要望を明らかにする。



SUP

方法

- 対象
 - 全国の107ヶ所の事業所の勤務者123名
- 調査期間
 - 2011年2月～3月
- 方法
 - 郵送法 質問紙調査
- 分析方法
 - 項目ごとの記述統計
- 倫理配慮
 - 無記名連絡不可能なことを保証した
- 質問項目
 - 直接相談を受けた以下の項目
 - ストーマ管理
 - 装具、交換方法、皮膚障害等
 - 日常生活
 - 入浴、食事、睡眠、排泄等
 - 社会生活
 - 就労、対人関係、経済等
 - 対応
 - 問題解決の有無
 - 事業所からの要望

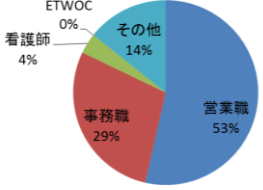
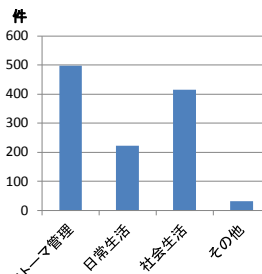


SUP

結果1

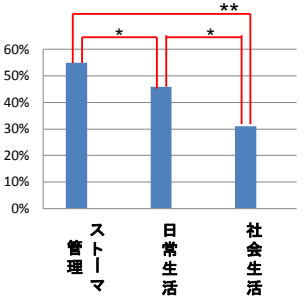
- 有効回答 55例 (45%)
- 回答者の属性

相談内容(複数回答)





SUP

結果2: 問題が解決したと回答した割合

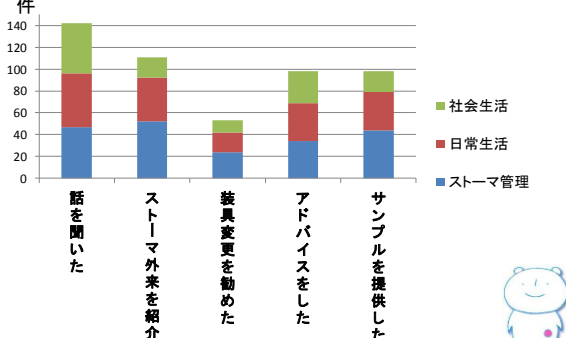



* p<.05 **p<.01



SUP

結果3: 相談の対応(複数回答)

SUP

結果4: 要望・提案

- **医療機関への要望**
 - 間違った情報を提供されている
 - ストーマ外来のない施設で手術を受けたストーマ保有者の相談窓口がない
 - ケアを事業所で聞くよう説明され困った
 - 病院で言いづらいことを相談された
- **事業所の役割拡大**
 - 医療機関との連携があればより良い相談ができる
 - 電話対応のため答えられる内容には限界がある
- **社会への提案**
 - 悩みや経験、工夫を共有できる場があるといい
 - 自治体ごとの手続き・様式を統一してほしい



SUP

結語

- ストーマ保有者は医療機関と同様に事業所に「ストーマ管理」「日常生活」「社会生活」に関して相談していた。
- 事業所の対応は話をよく聴き、真摯に対応をしており、ストーマ保有者にとってサポート資源となりうる。
- ストーマ保有者にとってより有益なサポートを提供するために民間－医療－行政の連携を求めていた。



SUP

謝辞

- 本研究でご回答いただきました全国のストーマ装具販売店、ストーマメーカー、カスタマーサポートの皆様へ深く感謝いたします。
- 本研究は平成22年度日本ストーマ用品協会研究助成による研究報告の一部です。

